

取扱いの趣旨

腐骨除去手術は、化膿性の骨髄炎等により壊死した骨を除去する手術であり、腐骨を引き起こす状態を示す傷病名の記載が適切であることから、「エプーリス」で「J047 腐骨除去手術 1 歯槽部に限局するもの」の算定は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【手術】 《令和3年2月22日》

149 腐骨除去手術

○ 取扱い

原則として、「エプーリス」病名で、「J047 腐骨除去手術 1 歯槽部に限局するもの」の算定を認めない。

○ 取扱いを定めた理由

腐骨除去手術は、化膿性の骨髄炎等が原因により壊死した骨を除去する手術であるため、腐骨を引き起こす状態を示す傷病名の記載が適切である。

グラフの見方

検証不要(少数事例)

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

腐骨除去手術（歯槽部に限局するもの）を算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（エプーリスに対して腐骨除去手術（歯槽部に限局するもの）を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、腐骨除去手術（歯槽部に限局するもの）が査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 50.00%
- 検証を必要とする都道府県 0

検証観点	検証を要する都道府県	備考
査定・返戻割合が低い都道府県		査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員等		対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員		//
該当件数（全国）	エプーリスに対して腐骨除去手術（歯槽部に限局するもの）を算定	2件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	1件
検証を必要とする審査	請求どおり	1件



【該当件数】 エプーリスに対して腐骨除去手術（歯槽部に限局するもの）を算定しているレセプト件数